

京柔整会報

機関誌 143号



巻頭言

副会長 林 啓史

特集

会員インタビュー 中川稔貴広報部長に聞く

特集

京都の接骨の源流を探る② 本会黎明期の群像

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成29年4月20日

京都医健専門学校 柔道整復科

3
年制

I部 午前集中コース
I部 午後集中コース

【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また、e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。



京都医健は、「既修得単位認定制度」・「専門実践教育訓練給付金制度」を設けています。

あなたの
学費を
サポート!!

あなたのキャリアを
最大限に活かす!

既修得単位 認定制度

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目(基礎科目・専門基礎科目)で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、学校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することがあります。

既修得単位認定制度で **履修単位の免除** **授業料の免除** を受けることができます

キャリア
アップを
国が支援!!

平成30年4月入学対象者

専門実践 教育訓練 給付金制度

対象 柔道整復科・鍼灸科・言語聴覚科・社会福祉科

※対象学科は変更になる可能性があります。

専門学校の職業実践専門課程で給付制度を行っている学校及び厚生労働大臣が専門的・実践的な教育訓練として指定した講座(専門実践教育訓練)を受講した場合に、給付金の給付割合の引上げや追加支給があります。

最大144万円給付!

鍼灸科	理学療法科	作業療法科	視能訓練科	言語聴覚科	社会福祉科	スポーツ科学科	トータルビューティー科
							
3年制	4年制	4年制	3年制	2年制	1年制 II部[夜間] ※大卒者等対象	2年制	2年制
I部[昼間]午前集中コース I部[昼間]午後集中コース	I部[昼間] II部[夜間]	I部[昼間]	I部[昼間]	I部[昼間] ※大卒者対象	精神保健福祉科 1年制 II部[夜間] ※大卒者等対象	スポーツトレーナーコース アスレティックトレーナー専攻 スポーツトレーナー専攻 スポーツインストラクターコース フィットネスインストラクター専攻 チャイルドインストラクター専攻 スポーツメディカルコース スポーツビジネスコース	ビューティー総合コース エステティックコース ビューティーアドバイザーコース メイクアップアーティストコース

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる

学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校
日体協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

医健KEN 京都医健専門学校

0120-448-808

〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

メール info@kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト http://kyoto-iken.ac.jp

WEBサイト http://www.kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト
携帯・PHSから
QRコードで
簡単アクセス!



京都医健

検索

目次

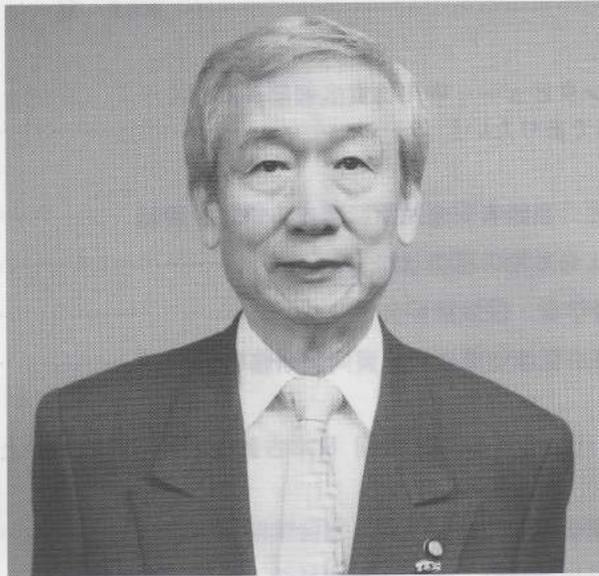
❖ 巻頭言 『明日死ぬかのように生きよ 永遠に生きるかのように学べ』 副会長 林 啓史	2
✦ 特集1 会員インタビュー 中川稔貴広報部長に聞く 『軽妙洒脱な男でありたい』	4
✪ 京都府警察本部と「高齢者安全対策に関する協定」締結	7
✪ 大角康之会員に人命救助の感謝状贈呈	8
✪ 第68回 京都接骨学会・保険講習会	9
✪ 平成28年度 京都府医療従事者の資質向上研修事業	10
✪ 会員投稿 「古伝の技を現代に伝える 第40回 日本古武道演武大会」 井上彰二会員	12
✦ 特集2 京都の接骨の源流を探る② 本会黎明期の群像	14
✪ 京都府柔道整復師協同組合 指定業者懇談会・京都接骨学会展示会 協同組合理事 波多野 晃彦	18
✪ 第44回 日本生体電気・物理刺激研究会に参加して	19
✪ 支部だより	
• 京都北丹会 研修会&新年会 通信員 横町 和宏	19
• 伏見支部会 通信員 松本 吉弘	20
• 北区・上京区・左京区 合同支部会 通信員 山形 高明	20
• 宇治支部会 通信員 保田 宗伯	21
• 西山会研修会・懇親会開催 記事 中川 稔貴	21
👤 会員の動静	22
🗨️ 掲示板コーナー	22
📅 編集後記	23

表紙の写真

「背割堤の桜並木」

背割堤（せわりてい）は、京都府南部の八幡市にある木津川と宇治川（淀川）を分ける堤防で、正式名称を「国営公園淀川河川公園背割堤地区」という。4月上旬になると、約1.4km渡って咲き誇るソメイヨシノ約250本の桜トンネルは圧巻である。2017年3月に、地上約25mの高さから桜並木を一望できる展望塔を備えた施設「さくらであい館」がオープンした。
（八幡市観光協会のホームページより引用） 撮影 広報部 波多野晃彦

『明日死ぬかのように生きよ 永遠に 生きるかのように学べ』 マハトマ・ガンジー



副会長 林 啓 史

この度、新年号で新春のご挨拶に引き続き4月発刊号において「巻頭言」を書く機会を与えていただきました。昨年4月の号におきましては、見出しを「ピンチをチャンスに変えチャレンジして行く」にしました。今年は、高齢化社会の到来で、本会会員の先生方も平均年齢が高くなっておられる現状から、生涯現役を維持される中で体力の温存は当然のことですが、「学び」は強い力になり、この気構えが生き甲斐をつくり健康維持にも必要と考えこれをタイトルとして掲げました。

京都府の補助金事業である「平成28年度京都府医療従事者の資質向上研修事業」として長尾淳彦会長自身が企画された「在宅で療養する運動疾患を有する者に対し柔道整復を実施するための研修事業」が認定され、現執行部任期締めくくりの特別事業として、執行部が一丸となって取り組みました。昨年11月13日（日）に旧会館にて第一回、第二回目は12月18日（日）舞鶴会場と2月19日（日）京都テルサの二カ所にて開催され、会員外の柔道整復師を含め予想を上回る多くの参加者が熱心に受講されました。事業の趣旨を十分に理解されている証として、より意欲をもってこの事業の継続に努力しなければと考える次第です。

また、今年2月10日には、「高齢者安全対策に関する協定」が、京都府警察高齢者総合対策推進本部と（公社）京都府柔道整復師会との間に締結されました。協定締結の目的とは「高齢者が被害に遭う特殊詐欺や交通事故などの犯罪等の未然防止のほか、近年増加する認知症を原因とする行方不明事案の防止を図るため、公益社団法人京都府柔道整復師会と京都府警察が連携して、高齢者の安全対策に取り組み、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進するものであり」明快なものであります。本会が関与する啓発ポスターが制作され、皆様方に配布することができました。

新春号におきましては、下記の3点を中心にして筆を進めました。同号より日数も経っておりませんので、この機会にこの三つの項目に対してコメントを加えさせていただきます。

1. 昨年の料金改定に伴い柔道整復師療養費制度の改革に向けてのロードマップが作成され実施の運びとなる項目について

●厚労省地方厚生局の指導監査強化

人員の増加

●柔道整復の公的審査会の権限強化

「申請書の返戻」「患者調査」「施術者調査」「施術者からの聴取」の権限が新たに付与され審査会が直接行使できることになる。本年4月から実施の予定。

●施術管理者の資格要件の見直し

3年間の実務経験、研修・講習会受講の義務化。本年4月から実施の予定。

●電子請求の導入に向けて、電子申請をモデル事業として実施

同時に電子カルテの義務化が必須となる。

●養成校のカリキュラム等の改正

平成30年4月入学生から適用、同時に柔道整復師国家試験も大改正される。

2. 世界では英国のEU離脱、米国のトランプ大統領の出現など「あり得ないこと」とされたことが次々と起き現実のものになり「不確実性、不透明性の時代」の到来についてこれらは、西側諸国における民主主義に対する価値観の衰退、というより疑いもなく不可欠のものとして委ねてきた民主主義体制の現状にたいする反発現象がおきているのではないのでしょうか。今の社会の仕組みを破壊することにより、何か新しいものが見えてくるのではないかと多くの国民が思い始め、現体制を壊し新たな体制に期待感をいだかせると同時に不満層を代弁し文句を言ってくれる強い指導者…独裁主義、権威主義の台頭に心地良ささえ感じているのではないのでしょうか。いわゆるポピュリズムの蔓延です。

政治、司法、行政、教育、道徳への不信感と民主主義の不効率、不決断、不作為、平等という名の下での権利意識の増幅、富の分配の格差、問題解決の停滞、先送り等々、枚挙にいとまがなく、民主主義が飽きられ、国々が本能むき出しの時代に回帰するパラダイムシフトが起きるのでないかとの極端な危惧さえ垣間見られるこの頃であります。

わが業界においても、不透明性、不確実性が存在します。“Change before you have to. 変革せよ 変革を迫られる前に”です。このような事実を、現実を理解し、客観視できる人々が大多数存在する限り。各種価値観が錯綜しても必ず是正されていくものと信じます。

3. 近年、取り組む企業が増えてきた“ライフタイムバリュー（LTV—顧客生涯価値）”の基点について

企業にとっては顧客の新規開拓を行うよりも、現状の顧客を維持させるほうがさらに多くの利益をもたらすであろうと想定が成り立つ。

顧客重視のマーケティングにより製品やサービスを企画・生産して顧客との関係を永く良好なものにしていく戦略のことであります。

柔道整復業務においても基本的な考え方は同じで、そのように対応して途切れることなく患者様が来院されることは、高収入を得て社会的責任も果たすことにつながるわけがあります。患者さんから人間的に信頼され、治療効果を上げ、納得のできる説明ができ、多岐にわたる知見を提供し、嘘がなく、そして経営が長期間成り立つようにするには、学ぶこと、研究すること、多くを知り経験することが求められます。

これにて「巻頭言」を終えることといたします。

会員の先生方には、今後も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

『軽妙洒脱な男でありたい』

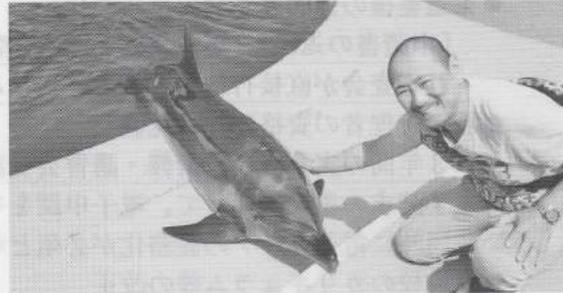
○出身地について教えてください

京都市生まれ、京都市で育ちました。

○先生の出身校は

明治東洋医学院です。

明治東洋医学院と言えば 1925 年に山崎鍼灸学院として設立されて現在にいたるかなり歴史のある学校ですね。



和歌山県太地町ドルフィンリゾートにて

○どちらで開業されていますか

故 原健先生に師事し 6 年勉強させて頂きまして、京都市西京区で開業しています。

○開業されてどれくらい経たれましたか

平成元年 8 月に開業して今年の 9 月で 29 年目になります。

○社団法人に入会されたのはいつからですか

開業と同時に入会しました。

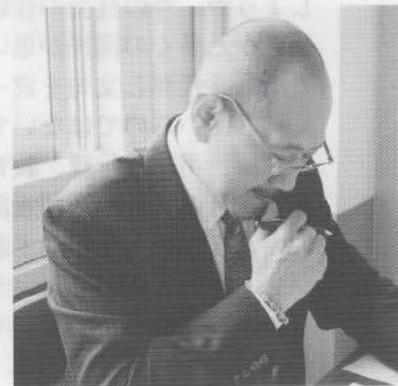
○開業されてから大変なことはありましたか

大変といえば、47 歳の頃に大腸癌が見つかり、手術をした事です。個人的にも大変な時期で、発見が遅れて精密検査の結果はステージⅣ判定でした。入院中は余命も考えましたが、九死に一生を得たとはこのことでしょうか。退院直前に知らされた病理検査の結果では、転移は無かったとの事でした。しかし、退院後 6 ヶ月間の抗がん剤は本当にしんどかったです。

2 ヶ月間、接骨院を閉めざるをえなかったことで、患者さんに迷惑と心配をお掛けしました。手術前に休診の準備、手術後の再開のお知らせに奮闘しましたが、接骨院を軌道に戻すまでの半年は、体力的、精神的、金銭的に苦勞をしました。

そして、私の闘病を泣きながらねぎらってくれた柔整学校の同級生で、同じ支部の先生が、癌で亡くなった知らせを受けた時は本当に辛かったです。

順風満帆に人生が上手くいくとは限らないので、こういったお話を伺うと勇気をいただけます。



本会事務所にて



中川接骨院外観

○社団法人での活動内容を教えてください

平成2年4月～平成11年3月 本会の青年部（後に青年会、今は無くなりました）
平成7年4月～平成23年3月 広報部員
平成23年4月～平成25年3月 学術部員
平成25年4月～平成27年5月 広報部長
平成27年6月～現在 本会理事・広報部長



右京区バドミントン大会

○趣味や好きな事を教えてください

スポーツはバドミントンを40歳になる前から初めて、今は月に5～6回の練習と1回程 試合に出ています。

新日本スポーツ連盟京都バドミントン協議会に登録する

チーム「BEVITORE」の代表と、地元の体振「葛野バドミントン」の副代表・会計をしています。

そして時間が空いた昼休みにはプールで泳いでいます。もう少し時間が有れば、スキー、テニスも再開したいですね。

そう、40歳で一度降りたバイクを、50歳を機に再度乗り始めました。時間が合えばお世話になっているツーリングTEAMや、知人と愛車「MOTO GUZZI Brevia V1100」で走っています。

「京の着倒れ、大阪の食い倒れ、神戸の履き倒れ」に習って、服や鞆、装飾品を買うのは楽しいですね。ショッピングモールやアウトレットモール、お気に入りショップにチョコチョコ出没しています。

食べ歩き、飲み歩きも好きです。グルメ雑誌をチェックして「食べログ」に登録、グーグルマップには星がいっぱい。好みの店に

行きついた際には、知り合いに教えたくくなります。

マイブームのお酒は、5年前からはまった「焼酎」「泡盛」です。

少しの空いた時間には、御轟頂の酒屋さんに通っています。

アクティブに動くことで世間の情報も取り入れる事もできるので、外に出るのも大事なことですよね。



あまはらし
富山県雨晴海岸より立山連峰を望む

○自分を客観的にみてどんな性格だと思いますか

基本は真面目なのですが、早とちり、情に脆く、お人好しで涙もろいです。打たれ弱く、褒めて伸びるタイプですかね。

若い時は反骨精神が旺盛でした。何でしょうか、これも生死を意識した手術より変わったかも知れませんが、他人の言葉をしっかりと聞き理解するようになりました。現在はアドラー心理学に関心がありますが、やはり他人の言動などは気になってしまいます。そして、軽妙洒脱な男でありたいと思います。

私的な見解ですが危機的な状況を経験された方は、何か言葉の重みが違うと感じます。



こおり
松尾大社おいで祭(郡)にて

○柔道整復師のコンプライアンス（法令）に関して何か思うところはありますか

私の開業した当時は皆さん、接骨院の屋号は「苗字+接骨院」を保健所に申請していました。整骨院・鍼灸整骨院などの屋号は、受領委任（患者に代わって費用を保険者に請求する）を取り扱う柔道整復師の施術所には無かったのです。今は厚生労働省のホームページにも整骨院の文字も上がっていますので、何とも言えない状態なのですね。

個人の意見として昨今、広告や看板なども柔道整復師法に則ったことが、一部の柔道整復師が行っていないのに危惧をしています。法令遵守は守って当たり前であって、法律が柔道整復師を守ってくれるものであってほしいと思います。

非常にデリケートな問題でもありますので、今後の国の動向も気になる場所ですね。



アウトレットモールにて

○今後の柔道整復師はどうあるべきだと思われますか。また、どういった形で生き残れば良いと思いますか

もっと職業・医療従事者としての「柔道整復師」に誇りを持って欲しいですね。根幹は「柔道整復師」で介護や救護に係っている時でもです。先ほどの質問でもありましたが、法令遵守が柔道整復師を守ってくれると思っています。そして私は、身の丈以上の事業はしないようにしています。

そして「学ぶことをやめる時が現役を辞める時」生涯現役でした原健先生の言葉ですが、何事に対しても学びを忘れぬようにスキルアップをしていけば、必ず道は開けると信じています。どんな仕事でもそうですが「学び」を放棄することは進化を拒否することと同じで後は衰退しかないので、スキルアップしようとする精神は必要だと思います。

○最後に、柔道整復師、柔道整復師会に対して何か思われることはありますか

柔道整復師の成り立ち・歴史から学んで、先人が苦勞されて「日本柔道整復師会」京都では「京都府柔道整復師会」が柔道整復師を守ってこられたことを知りました。生業として「柔道整復師」が出来ていることを理解して、もっと本会の行事や仕事に参加してほしいです。今は理事の職をさせて頂いていますので、会員が意見をしやすい柔道整復師会にしたいですね。気軽にお声がけ頂ければと思っています。

今回はお忙しいところ質問にお答えいただき有難うございました。

(広報部 梅谷慎二)

京都府警察本部と 「高齢者安全対策に関する協定」締結

平成 29 年 2 月 10 日(金)午前 11 時より京都府警察本部本館 3 階会議室にて標記の協定締結式が行われました。

この協定は、高齢者が被害に遭う可能性が高い特殊詐欺や悪徳商法を始めとする犯罪や交通事故の未然防止のほか、認知症を原因とする高齢者の行方不明事案の早期解決を図るため、京都府警察と公益社団法人京都府柔道整復師会が相互の連携・協力の下、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて締結されました。

本会より長尾淳彦会長、柴田宗宣副会長、林啓史副会長、京都府警察本部より、高齢者総合対策統括官(生活安全部次長)田中敏昭警部、生活安全企画課犯罪抑止対策室 室長補佐 中岡政貴警部、生活安全対策課 課長補佐 水野哲二警部が協定締結式に出席されました。

長尾会長挨拶の中で「昔の接骨院は、身体のケガを治療すると共に、地域の門番 ゲートキーパーであり、お悩み相談の場でもありました。今回もう一度、昔の接骨院の形態に戻り京都府警察と連携して、いかに高齢者を犯罪や事故から守る事が出来るかが大切だと思います。ちなみにデータとしまして京都府の接骨院で 1 ヶ月に施術をする患者さんは約 15 万人、75 歳以上の後期高齢者は約 2 万 2 千人です。府民の健康に携わりつつ、如何にして府民に還元するかが大切だと思います。今回の協定締結は、対面で患者さんを治療する接骨院特有の接し方とコミュニケーションの中で、身体の変化だけでなく心の変化、悩んでおられる事をいち早く察知して認知症の早期発見や特殊詐欺被害の防止、運転免許証を自主返還するお助けなど、柔道整復師が一助となるきっかけになることを目的としています。今日がスタートですので、公益社団法人京都府柔道整復師会として今後ご協力ができることはしていきます。」と話されました。



長尾淳彦会長挨拶

生活安全部次長 田中敏昭警部の挨拶では「京都府内の犯罪情勢は 12 年連続して減少し、統計開始以来最少となり、数値的には一定の治安改善が図られたところであります。しかしながら高齢者を狙った特殊詐欺被害は依然、高水準で発生しています。また昨年、府内の交通事故死者数は統計を開始した昭和 23 年以来最少の 60 人となったものの、その過半数以上が高齢者で、今後ますます高齢化が進む中、高齢者を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。本日、公益社団法人 京都府柔道整復師会と京都府警察が連携して、高齢者が被害に遭う犯罪や事故の未然防止等、高齢者の安全対策に取り組む運びとなったことで、より一層、高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進が図られるものと期待しています。」と話されました。その後、協定締結における協定書が交わされました。



ポスター

今回の協定締結に先立ち、公益社団法人京都府柔道整復師会の取り組みでありました「特殊詐欺被害防止を目的とした啓発ポスター」が披露されました。2013年第5回世界形柔道選手権大会において古武道の「起倒流柔術」演武をされた本会 井上彰二会員と岡島順会員がモデルとなっています。

このポスターは公益社団法人京都府柔道整復師会会員の施術所、警察施設等 1,000 か所に掲示されます。最後に出席者の集合写真を撮影して「高齢者安全対策に関する協定」締結式は閉式されました。

(広報部 中川稔貴)

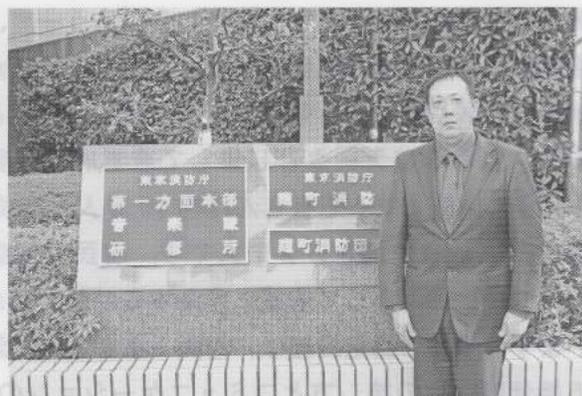


集合写真

大角康之会員に人命救助の感謝状贈呈

平成 29 年 2 月 5 日(日)、日本武道館にて開催された「第 40 回 日本古武道演武大会」において、演武中に倒れ心肺停止となった参加者に対して大角康之会員は救護所の医師らと共に AED による除細動及び胸骨圧迫心マッサージ、人工呼吸を実施して消防隊に引き継がれました。救助された方は幸いなことに一命を取りとめられ、元気に退院されたようです。

この功績に対して平成 29 年 2 月 21 日(火)、東京都千代田区麴町の東京消防庁麴町消防署において感謝状の贈呈が行なわれました。当日、大角会員は本会長尾淳彦会長と共に東京都千代田区麴町にある麴町消防署を訪れ、長澤和弘麴町消防署長より直接感謝状を受け取られました。



そして、京都府柔道連盟の総会においても、表彰状が大角会員に授与されました。

大角会員は本会救護隊本部隊員で、日頃から救急救命・救護活動に取り組まれています。公益社団法人京都府柔道整復師会としての誇りです。

(広報部 中川稔貴)

参照：柔整ホットニュース

(<https://www.jusei-news.com/gyoukai/topics/2017/02/20170223.html>)

第68回 京都接骨学会・保険講習会

平成 29 年 3 月 19 日(日)午後 1 時 30 分より京都府民総合交流プラザ 京都テルサ東館 3 階大会議室にて第 68 回京都接骨学会が開催されました。池辺 徹学術部部員が総合司会を務め、柴田宗宣副会長の開会の辞の後、長尾淳彦会長の挨拶がありました。次に会員発表に移り、下記の順で発表されました。

- ① 演題「橈骨遠位端骨折後みられた長母指伸筋腱断裂の一症例」 南丹支部 服部博幸会員
53 歳女性の症例について、長母指伸筋腱断裂の原因を推測、考察を加えられた発表でした。
- ② 演題「大腿骨骨幹部骨折と膝関節拘縮」 北丹支部 菅原不二雄会員
医師より依頼された高齢者の大腿骨骨折後の膝関節拘縮について考察を加えられた発表でした。
- ③ 演題「新柔整捻挫」 東山・山科支部 岡村優輝会員
京都接骨学会において岡村会員が発表された「急性・亜急性の一考察」「捻挫の一考察-「急性・亜急性の一考察」をふまえて-」の続編といえる発表です。

その後、表彰に移り長尾会長より表彰状と楯が発表者に贈られました。



会場 京都テルサ東館

京都接骨学会が終了し、続いて岸本隆幸保険部員の司会で保険講習会に移りました。講習内容は以下の通りです。

- ① 「最近の保険情勢」 中村英弘保険副部長
疑義返戻などについて詳細に件数、内容、傾向、対策について解説されました。また、施術録記載上の注意点など解説されました。
- ② 「カリキュラム改正 制度改革 業界はどう変わる」 長尾淳彦会長
柔道整復師の業務についての解説から始まり、平成 30 年 4 月から改正される養成校での新カリキュラムの内容について、学生の臨床実習についての要件、日常業務について来院簿や施術録についての補足事項、電子請求の動向について、公益社団法人の意義、地域包括ケアシステム等々、多岐に渡る内容でした。

以上で当日のプログラムは滞りなく終了し、林 啓史副会長の閉会の辞により成功裏に終了しました。参加者数は会員 132 名、研修生 3 名、会員外 2 名でした。



長尾淳彦会長と発表者の面々



会場風景



長尾淳彦会長挨拶



中村英弘保険副部長



保険講習会司会
岸本隆幸保険部員



総合司会
池辺 徹学術部員

京都府健康福祉部医療課

平成28年度 京都府医療従事者の資質向上研修事業

「在宅で療養する運動器疾患を有する者に対し 柔道整復術を実施するための研修事業」

平成28年12月18日(日)西舞鶴の西駅交流センター3階ホール、平成29年2月19日(日)京都府民総合プラザ 京都テルサ東館2階セミナー室の両会場において、標記講習会が開催された。これらは高齢者および障害者等が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備するため、京都府の補助金事業の一環として企画されたものである。平成28年11月13日(日)に先行して開催された、第67回京都接骨学会における、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 講師 伊藤倫之先生による「ロコモティブシンドロームと腰痛症について」と題して行われたご講演と上記2会場のいずれかを受講された方にのみ修了証が授与される。内容は両日ともほぼ同様であり、次第は以下の通りである。

司会進行 学術部 池辺 徹

- | | | | |
|-----------------------------------|----------------|-------|------|
| 1. 開会の辞 | (公社) 京都府柔道整復師会 | 副会長 | 柴田宗宜 |
| 2. 会長挨拶 | (公社) 京都府柔道整復師会 | 会長 | 長尾淳彦 |
| 3. オリエンテーション | (公社) 京都府柔道整復師会 | 学術副部長 | 田中弘昭 |
| 4. 講師紹介 | (公社) 京都府柔道整復師会 | 学術副部長 | 田中弘昭 |
| 5. 研修 「訪問活動をする上での心得～地域支援事業の立場から～」 | | | |

大浦・朝来・志楽地域包括支援センター センター長 柴田崇晴 様
「運動器疾患を有する高齢者に対する基本動作介助法の習得」

京都リハビリテーション病院	理学療法士	万谷 健 様
介護老人保健施設	深草京しみず	理学療法士 山本あいね様
(舞鶴会場) 介護老人保健施設	深草京しみず	理学療法士 江口輝行 様
(京都テルサ会場) 介護老人保健施設	深草京しみず	理学療法士 丸山勝也 様

- | | | | |
|----------|--------------------------|-------|------|
| 6. 修了証授与 | (公社) 京都府柔道整復師会 | 会長 | 長尾淳彦 |
| 7. 閉会の辞 | (舞鶴会場) (公社) 京都府柔道整復師会 | 学術部長 | 綾田剣一 |
| | (京都テルサ会場) (公社) 京都府柔道整復師会 | 学術副部長 | 田中弘昭 |



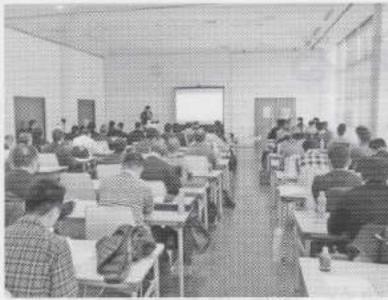
西駅交流センター



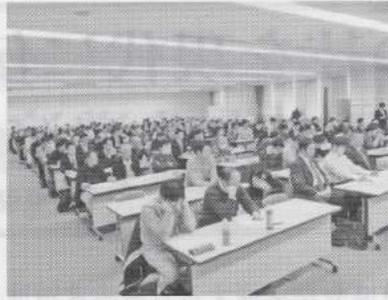
京都テルサ

〈研修内容〉

1 講目として、大浦・朝来・志楽地域包括支援センター センター長の柴田崇晴講師に「訪問活動をする上での心得～地域支援事業の立場から～」と題し、プロジェクターを使用し、パワーポイント資料に沿って、まず「介護保険における相談からサービスまでの流れ」の解説の中で、平成29年4月1日から一部の地域を除き、京都府内市町村全域で「チェックリスト」・「総合事業」が追加される旨のお話があった。次に、「訪問活動をする時のポイント」や「認知症の方との接し方」等を、講師自身の日常業



舞鶴会場の講習風景



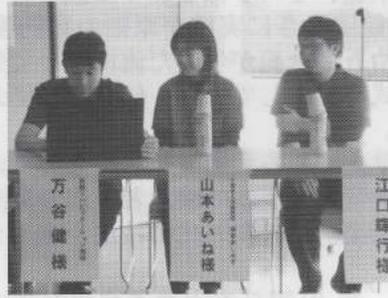
京都テルサ会場講習風景



プロジェクターによる講義風景



柴田崇晴講師



舞鶴会場の講師陣



京都テルサ会場
右から万谷・山本・丸山講師

務から体験を交え、実際に家庭を訪問した際の留意点について詳細にわかりやすくご講義いただいた。最後に地域包括ケアシステムについてお話いただき、1講目は終了となった。

2講目として、「運動器疾患を有する高齢者に対する基本動作介助法の習得」と題し、京都リハビリテーション病院 理学療法士 万谷 健講師より、まず、「高齢化社会の現状と今後」・「代表的な運動疾患の病態と注意事項」等を、パワーポイント資料を基にプロジェクターを使用し座学中心の講義が行われた。

次に「介助のコツ」・「基本的な介助方法について」、介護老人保健施設 深草京しみずの理学療法士 山本あいね氏・江口輝行氏（舞鶴会場）・丸山勝也氏（京都テルサ会場）による実技が行われた。舞鶴会場では、3グループに分かれて実技実習が行われた。各グループに与えられたテーマで介助法を模索しながら行い、各グループの代表が実際に全員の前で実技を行った。その上で講師陣の方法、解説が行われ、考えながら実技を学ぶことを主眼として進められた。様々な対象者の条件を考慮しながら、より合理的かつ対象者や介助者の負担にならないよう留意した介助法のエッセンスを学ぶことができたと思われる。他に介助者の負担を軽減するスライディングボード、介助ベルトなどの解説が行われた。京都テルサ会場では実技実習は行われなかったが、山本・丸山両講師による実技ライブ映像をプロジェクターに映し出し、それについて万谷講師がわかりやすく解説された。続いて、万谷講師による「日常生活動作を行う上での評価について」・「日常生活動作訓練について」の講義が行われ、研修は終了となった。

最後に代表者に修了証が授与され、講習会は成功裏に終了した。

(広報部 安田優二 波多野晃彦)



ライブ映像による講義風景



長尾会長から修了証を授与される
山村政男会員

古伝の技を現代に伝える 第40回日本古武道演武大会

柔道整復研究室 井上 彰 二

財団法人日本武道館と日本古武道協会が主催する日本古武道演武大会が、平成29年2月5日(日)東京北の丸公園の日本武道館において35流派が出場し盛大に開催された。

日本で育まれてきた壮大なる武の系脈、その多様な彩りは観る者を魅了する。そんな、武の匠の技を無言の内に競い合う、武道家たちの競演まさに実戦が原則の真剣勝負である天神真楊流と起倒流柔術は、講道館柔道の創始者である喜納治五郎師範が学んだ流派として知られている。

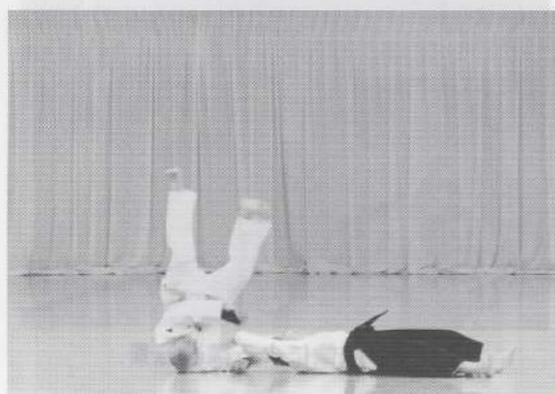
起倒流柔術は現在、講道館柔道古式の形として保存、伝承されており今回はその古式の形の原形である起倒柔道鑑組討の形が表現された。

古武道諸流を比較考察することで見えてくる武道文化、今大会では、剣術、柔術、各種の武器術に分かれて演武が行われ、流派の歴史時代背景、流派の継承者、流儀流派の伝承地、それらの違いが古武道流派の風格となり技となって、日本伝柔術の千変万化の技法を誕生させ連綿としてその道統を伝えている。

最後に陽流炮術を以って演武納め、第40回日本古武道演武大会は壮観な日本の貴重な文化遺産である演武大会であった。

日本の古武道は真剣勝負という逃避出来ない極限の精神状態で技と心を一体に修練し、流派という独特の精神世界を構築してきました。

現代においても色褪せることのない流儀起倒流柔術の、乾坤一擲の捨身技、捨て、生きる



第40回 日本古武道演武大会

1 趣 旨 わが国の長い歴史と伝統を持つ古武道の「技と心」を広く一般に紹介し理解を得るため、全国各地に伝わる古武道の中から厳選した流派による演武会を開催し、文化遺産である古武道の保存伝承に寄与する。

2 名 称 第40回日本古武道演武大会

3 主 催 公益財団法人日本武道館、日本古武道協会

4 後 援 スポーツ賞、読売新聞社、日本放送協会 NHK

5 協 賛 日本武道協議会、全国都道府県立武道館協議会

6 期 日 平成29年2月5日(日)

7 会 場 日本武道館(東京都千代田区北の丸公園2番3号)

8 次 第 開会式 10:30~10:50

演 武 11:00~15:50

閉会宣言 16:00(予定)

9 出場流派名 古武道35流派

諸賞流和、天神真楊流柔術、大東流合気柔術、起倒流柔術、本體楊心流柔術、関口新心流柔術、竹内流柔術腰廻小具足、澁川一流柔術、當田流剣術、溝口派一刀流剣術、北辰一刀流剣術、天真正伝香取神道流剣術、鞍馬流剣術、天然理心流剣術、心形刀流剣術、示現流兵法剣術、無雙直傳英信流居合術、田宮流居合術、水鷗流居合剣法・正木流鎖鎌術、伯耆流居合術、初實剣理方一流甲冑抜刀術、関口流抜刀術、風傳流槍術、佐分利流槍術、無比無敵流杖術、竹生島流棒術、楊心流薙刀術、肥後古流長刀、琉球古武術、琉球王家秘伝本部御殿手、柳生心眼流甲冑兵法、陽流砲術、荒木流拳法、根岸流手裏剣術、小笠原流弓馬術

10 演武時間 1流派7分40秒、入退場20秒の計8分

〈起倒流柔術〉

監督 長尾淳彦

取方 井上彰二

請立 岡島 順

記録写真 西村美紀

マネージャー 大角康之

(参) 西村正樹氏(東映)

京都の接骨の源流を探る② 本会黎明期の群像

初代会長、稲葉太郎氏の周辺

稲葉氏が1920年（大正9年）に柔道整復師免許試験に合格し、1922年（大正11年）に本会が創立され、初代会長に就任されたことは前回に記した。当時は警察署内に衛生部があり、柔道整復師はことあるごとに医師の同意の下に行っているかなど、厳しく取り締まりを受けていたとのことであった。こんな時代に稲葉氏は自宅施術所に寝台を置き、白衣を着用して従事し、「誇大なり」と始末書を取られ、武道関係者からは「稲葉は接骨をやり、金を儲け、金銭の奴隷なり」と罵られたという。

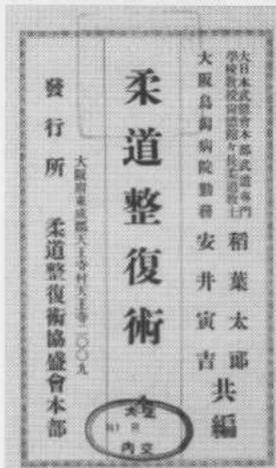
しかし信念をもって接骨術の研鑽、学の構築、技術向上など業界発展のために努め、大阪の北泉勝臣氏らと共に幾度か学術講習会などを開催して医学的技術の向上を図り、大阪大学医学部で医師（小澤修造博士と思われる）の指導の下、人体解剖や接骨技術の講習会を開催された。その講習会には関東、東海、近畿、中国地方より多数参加されたとのことであった。また、氏はレントゲンにも早くから関心をもち、京都の島津製作所の後援で当時の権威者、浦野多門治博士の指導の下、研究に励まれた。島津製作所のウェブサイトによると『1909年（明治42年）わが国初の医療用X線装置を完成』と掲載されている。大正～昭和初期の当時、島津製作所では柔道整復師用のX線装置を製作したそうである。また、本会は当時から東京での会合にも可能な限り出席していたとのことであるが、上京費用の捻出には副会長の松浦新、道端徹の両氏が苦勞されていたとのことである。

さて、稲葉氏の関わった編著の判明分を下記に表で示す。

題名	編著者	発行	発刊年
「柔道整復術」	稲葉太郎・安井寅吉	柔道整復術協盛會本部	1921年（大正10年）
「柔道接骨学総論 上巻」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1933年（昭和8年）
「柔道接骨学総論 下巻」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1934年（昭和9年）
「柔道接骨学各論」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1935年（昭和10年）

「柔道整復術」の共編者は大阪鳥潟病院勤務 安井寅吉氏であり、後に岡山県柔道整復師会初代会長になられた方である。稲葉氏の肩書は「大日本武徳会本部武道専門学校教授 尚徳館館長柔道教士」となっている。この本の目次の大項目を以下に記す。

「柔道整復術」【目次】



「柔道整復術」扉部分

第一編 整復學	第二章 整復學各論
第一章 總論	
第二編 後療法	第二章 副木
第一章 繃帶學	第四章 マッサージ法
第三章 刺戟誘導法及び消炎法	
第三編 消毒學	
第一章 消毒法の意義（目的）	第二章 理學的消毒法
第三章 化學的消毒法	第四章 消毒の應用

次に「柔道整復術」の序文を仮名遣い等、変更して掲載する。

「今回、内務省令を以て柔道整復術の取締規則發布と共に当局に於いて開業試験が施行されたが、これを研究し、益々その深奥を探らんとする者達にその敷居を広げ、その研鑽に費やすべき書を求める者



「柔道整復術」文中抜粋

本書を一読して理解に苦しむ諸氏は一層解剖学を究められることを切望する。少なくとも整復術を修めんとするものは本書に記載せる解剖学上の名称、部位等は的確に理解できてなくてはならない。参考書として故今田東氏著作の「実用解剖学」などは最も適当なものと認めるところである。本書も幾多の参考書を頼りに上辞したものであり、今後さらに版を重ねて改善し遺漏なきように努めたい。

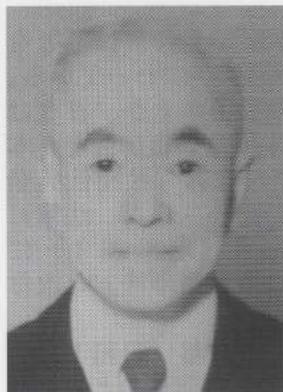
ちなみに本書編纂の資に供したる参考書中、その主なものは茂木藏之助『新撰外科總論』、松本喜代美『臨牀小外科』、足立寛『整骨圖説』である。読者諸氏はこれらの専門書で一層研鑽されんことを切望する。大正10年8月1日 編者記す。」

※「柔道整復術」は国立国会図書館デジタルコレクションのサイトで閲覧可能である。

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/935237>

この序文の内容によって柔道整復師試験の教科書的役割を担って本書が発刊された事情を読み取ることができる。「柔道整復術」より12年後から3年にわたり発刊された「柔道接骨学総論 上巻」「柔道接骨学総論 下巻」「柔道接骨学各論」はかなり内容を充実させた力作であることは想像に難くない。これらの著作については目次のみ国立国会図書館デジタルコレクションのサイトで閲覧可能である。

昭和前期の状況



第2代会長 松浦 新氏

按摩術営業のなかで接骨に従事していた柔道家たちはその身分に満足せず、1930年（昭和5年）頃から柔道整復術の単独法制化を求めて期成同期会を結成し、活動を続けていた。1932年（昭和7年）には本邦初の柔道整復師養成校、大阪接骨学校が設立（医学博士行岡忠雄氏による）、1938年（昭和13年）には全国の都道府県知事と健康保険取扱協定書を締結して、療養費受領委任払い方式を取得した。

そこから2年を遡る1936年（昭和11年）8月、本会代表者であった稲葉太郎氏が本会を退会された。理由は不明である。これにより本会は木屋町松原の「鮎鶴」で緊急臨時総会を開催し、協議の結果、松浦 新氏（1921年（大正10年）12月合格、大阪府免許第11号）が第2代の本会会長に就任、道端 徹氏が副会長として補佐されることとなった。松浦氏と道端氏は健康保険取扱いにおいて全国の同志と

が多くなっているが、未だこれに適するものなく、誠に遺憾とする。よって整復術を志す柔道家に直接必要にして、間接的に柔道の進歩、発展の一助となり、かつ柔道最終の目的とすべき世を補益することを実現するため、我々の必修とするべきものとしてこの学問の普及発展に注ぎ、この参考書の編纂に留意するが、如何せん共に浅学非才に加えて日常業務が多忙であり、斯道の研究に没頭していたが今日に至り、今や時運の要求は発刊の遅延を許さず、やむなくこの度「柔道整復術」と題して刊行することとなった。

本書は現行規定の開業試験科目に準じ、努めて簡易を旨とし、受験の程度に適合するところを掲載し、読者が記憶しやすいように努めたものであるが著作要求が切なるものであり、急遽の発刊であったので編者の意に満たない部分も残っている。整復術は医療の一技術にして解剖生理学の如きは適切なる治療法を施すにはその基礎を以って詳論すべきなので読者諸氏は本書の他に適当な書を以って習得に努めて頂きたい。



初代会長 稲葉太郎氏



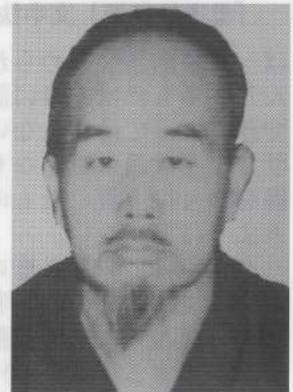
東京での会合が行われていた上野、精養軒

昼夜を問わず会合協議を行い、交渉手続きについても五里霧中な状態の中、行政機関にも日参し、1936年（昭和11年）、遂に受領委任払い方式で保険取扱いが実現した。全国的にも京都はいち早く受領委任払い制度の協定を得たと思われるが、当時の保険取扱いは大変、面倒な手間のかかるもので単価も低いものであった。しかし、この頃から会員数も増加して30名を超え、会としての基礎も固まってきた。1937年（昭和12年）4月に「鮎鶴」で定時総会が開催され、役員改選が行われた。第3代会長として清水久次郎氏が就任された。清水氏は学校安全会とも保険協定を結び、1938年（昭和13年）9月5日には京都市電気局健康保険組合と保険協定を結んだ。



長きにわたって本会行事が開催されていた料亭鮎鶴

1940年（昭和15年）になって退会されていた初代会長、稲葉太郎氏が本会に再入会された。その際、「平安会」という団体を組織して会長就任された。そのことで会員間に紛糾が生じ、分裂状態に発展したのであるが1943年（昭和18年）には1本化となった。その年には清水会長が辞任され、第4代会長に齊藤善一郎氏が就任、久家恵、青木治太郎、砂田松治郎の三氏が副会長に就任された。



第3代会長 清水久次郎氏

世間的には1941年（昭和16年）に真珠湾攻撃が行われ、太平洋戦争が勃発、日本は戦争の渦の中に巻き込まれて行く。物資、包帯材料、消毒薬などは配給制度となり、齊藤氏は衛生部、保健部に交渉のため日参したそうである。また大阪や神戸の空襲で救護班として医師、看護師らと共に再三の出動があったとのことである。

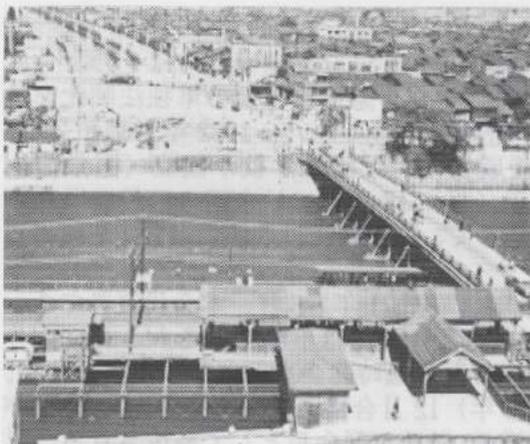
昭和中期の状況

1945年（昭和20年）8月15日、太平洋戦争は終局したが、アメリカ軍の進駐で国内は混乱状態を呈した。1946年（昭和21年）厚生省令により柔道整復術営業取締規則が制定された。ところが1947年（昭和22年）には米進駐軍の圧力で医師以外の非医業（鍼灸、按摩マッサージ、柔道整復など）の廃止を含めた対応を勧告され、柔道整復術営業取締規則も新憲法発布と共に失効となった。そのような状況下ではあったが、その年の間に新たに「あん摩、はり・きゅう・柔道整復等営業法」が公布されることとなった。そこには時の厚生大臣一松定吉氏（第5代全日本柔道整復師会会長）や、第6代会長（日本接骨師会）就任の医師、小林大乗



京都駅旧駅舎

1952年（昭和27年）～1993年（平成5年）



五条大橋東詰めより 1955年（昭和30年）

氏や武見太郎氏（後の日本医師会長）に協力を懇願して状況打開したとの経緯が伝わっている。しかし、戦後の混乱状況の影響ゆえか、日整は1950年（昭和25年）に日本柔道整復師会と日本接骨師会に分裂、その3年後には「社団法人全日本柔道整復師会」として統一された。法律に関して前述の営業法は1951年（昭和26年）に「あん摩、はり・きゅう・柔道整復師法」と改称された。

京都の状況に話は戻る。1940年（昭和15年）に本会内で分裂が起こったことは前述のとおりであるが、1951年（昭和26年）にも分裂の憂き目



第4代会長 齊藤善一郎氏



五条大橋東入る付近 1958年(昭和33年)



第5代会長 久家 恵氏

を見ている。それは衛生材料の配給を分配することに端を発して新会、旧会に分裂して対立したものである。新会では会長に清水久次郎氏を、副会長には栗原民雄氏、道端 徹氏を立て、旧会では齊藤善一郎会長は引退し、久家 恵氏が会長、副会長には羽山清次郎氏、阪井 昇氏が就任された。この分裂状態は数年続くことになってしまったが、1957年(昭和32年)にようやく合同結成式が行われるに至り、新生、「社団法人 京都府柔道整復師会」としてまとまることができたのであった。新生となった本会では第1期会長として清水久次郎氏、第2期会長として久家 恵氏の名が掲げられた。

(広報部 安田優二)

参考・引用文献(順不同)

- ・「社団法人京都府柔道整復師会 会館竣工記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 昭和59年10月1日発行
- ・「社団法人設立五十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 平成16年5月23日発行
- ・「柔道整復学 構築プロジェクト報告集」社団法人日本柔道整復師会 柔道整復学推進本部 2008年3月29日発行
- ・「柔道整復白書」社団法人日本柔道整復師会 平成15年3月30日発行
- ・「柔道整復術」稲葉太郎、安井寅吉 共編 柔道整復術協盛会本部発行 大正10年8月7日発行
- ・論文「安井寅吉『柔道整復術』の成立過程の一考察」湯浅有希子、木下美聡 臨床福祉ジャーナル 第8巻～
- ・論文「安井寅吉『柔道整復術』と西洋医学の影響」服部有希子 臨床福祉ジャーナル 第8巻～
- ・日整広報 Feel Go Vol238 2016年夏号



京都府柔道整復師会本部



京都府会示室

京都府柔道整復師協同組合 指定業者懇談会・京都接骨学会展示会

平成 29 年 3 月 19 日(日)午前 10 時より京都テルサ西館 3 階第 2 会議室において、標記懇談会が開催されました。私が司会進行を務めさせていただき、山村政男副理事長の開会の辞、関弘美理事長の挨拶、塚原貴史専務理事による平成 28 年度の概況報告、関弘美理事長による新規指定業者の認定証授与、出席された指定業者の自己紹介の順で進行し、そして各担当者による個別懇談が行われ、懇談会は終了しました。当日ご参加いただきました指定業者は次の通りです。(株)みらいふ・メットライフ生命保険(株)大阪アーバン A/O・ワールドインシュアランスエージェンシー(株)・メットライフ生命保険(株)京都烏丸 A/O・プレデンシャル生命保険(株)・(株)ファロス・オクムラユニフォーム・(株)岡本・京都内村屋・(株)日本トリム・東和ハイテック(株)・(株)ワールド・(株)エス・エス・ピー・日本システムクリエイト(株)・(株)ユーテック・(株)コストトレード・スポーツバンク(株)

〈敬称略・順不同〉



塚原専務理事による概況報告



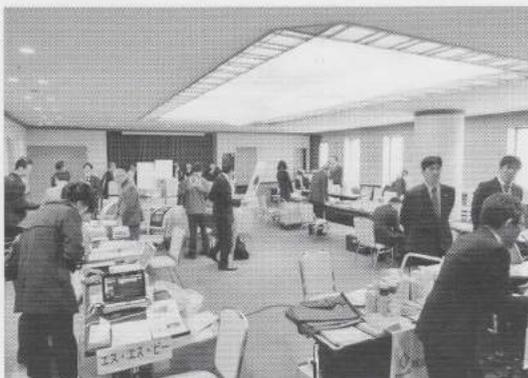
個別懇談風景

懇談会終了後、同会場において早速展示会の準備が行われ、正午より展示会を開始いたしました。当日限定の特別値引き商品の展示販売やサンプル品の配布が行われました。今回は、京都接骨学会の参加受付を展示会場前で行なわせていただきましたのに加え、ワンフロアでの展示会であったこと、また協同組合より学会参加者へ当たり付の粗品を進呈したことにより、多くの来場者があり大盛況で幕を閉じました。展示会にご参加いただきました指定業者は次の通りです。西尾衛生材料(株)・(株)ファロス・(株)ミル総本社・(株)サンケイワーク・(株)日本トリム・オクムラユニホーム・東和ハイテック(株)・(株)エス・エス・ピー関西営業所・(株)ワールド・日本システムクリエイト(株)大阪営業所・(株)ユーテック・スポーツバンク(株)

〈敬称略・順不同〉

懇談会および展示会にご参加いただきました指定業者の皆様、お疲れ様でした。

(投稿：協同組合理事 波多野)



展示会場風景



粗品配布および抽選風景

第44回 日本生体電気・物理刺激研究会に参加して

平成29年3月11日(土)ウェスティン都ホテル京都において、午前8時55分より午後6時まで表題の研究会が行われました。今回の研究会は宇治武田病院院長 勝見泰和先生(現 十条武田リハビリテーション病院院長)が会長として開催されました。

本会からは、長尾淳彦会長の声掛けで多数の会員が参加させていただきました。

特別講演では、京都府立医科大学 久保俊一副学長による「生体電気・物理刺激の変遷」、招待講演では明治国際医療大学附属総合医療センター 今井二郎先生による「統合医療における物理的刺激療法の役割」と題して講演をされました。教育講演では、北海道大学病院リハビリテーション科 池田聡先生による「ストレッチと筋力増強」、同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 北條達也先生による「運動器温熱療法のエビデンスを求めて」、ランチョンセミナーでは、広島県障害者リハビリテーションセンター 水関隆也先生による「RA 上肢のリハビリテーション」の講演が行われました。

そしてシンポジウムでは、明治国際医療大学鍼灸学部臨床鍼灸学講座による電気刺激の研究、日本体育大学の保健医療学部附属臨床実習施設「スポーツキョウセンター横浜・健志台接骨院」の電気刺激の研究と有用性についてのなどの講演と、シンガポールのクリニックで診察をされている医師から補完統合医療(CIM: Complementary Integrative Medicine 伝統的医療)の説明、大学看護学部教授から見た代替補完療法としてのリラクゼーション法のお話、一般発表では大学・病院の医師などによって、生体に対しての電気刺激有用性の研究が発表されました。

今回、初めて参加させていただきましたが、私たちが日ごろ施術の一環として使用している、温熱療法・低周波・高周波・超音波などの有用性と可能性を認識できた学会でした。

(広報部 中川稔貴)



挨拶をされる勝見泰和先生

支部だより

京都北丹会 研修会&新年会

通信員 横町和宏

平成29年1月22日(土)に京都北丹会の研修会&新年会がセントラレ・ホテル京丹後にて開催されました。一週間前は大雪で開催が危ぶまれましたが、大雪警報も解除されて無事に開催することが出来ました。村上由一支部長の挨拶の後、12月18日(日)に舞鶴市内で開催された研修事業についての話や、4月から始まる総合事業における柔道整復師としての関わり方についての話がありました。柔道整復師として介護事業に携わる会員もあり、活発に議論が繰り広げられました。総合事業に柔道整復師として参画出来るように、個人単位ではなく、支部活動を通して働きかけていかなければならないと強く感じました。その後、支部研修会として最新の固定用具を使用した固定法について学び、各会員が日常の業務で用いている固定法を共有



する事ができました。同じ症状でも固定法が会員間で異なっており、新たな発見があり有意義な時間となりました。その後は懇親会が盛大に行われ、冬の味覚であるカニ料理を堪能しました。新入会員の河原巧会員を囲みながらの和やかな雰囲気の中、ベテランから若手までの会員が情報を共有し、夜遅くまで宴は続きました。



支部だより

伏見支部会

通信員 松本吉弘

平成29年2月18日、午後5時30分より八坂神社南門前にある「祇園畑中」において支部会、懇親会が開催されました。

事業部長・保険副部長の中村英弘先生をお招きし最近の保険情勢及び新会館建設に向けてのお話し等をしていただきました。

その後、近藤桂市会員による乾杯のご発声に

より、懇親会が始まりました。おいしい料理をいただきながら親睦を深め和やかな雰囲気での宴が進み、最後に戸川和孝支部長より新支部長・幹事・会計の紹介があり閉会となりました。今回も出席者が19名と少なく、ご多忙で参加出来なかった先生方も次回は是非、参加していただけることを望んでおります。



支部だより

北区・上京区・左京区 合同支部会

通信員 山形高明

平成29年2月25日にウェスティン都ホテル京都にて北区・上京区・左京区の合同支部会を開催いたしました。

40名の会員が集まり各支部に分かれまして、近況報告や会員動静の報告が支部長より行われた後、任期満了による支部役員引き継ぎが行われました。

その後、本会から来賓として長尾淳彦会長にお越しいただき、来年平成30年4月より柔道整復養成学校の抜本改革があり、養成学校数が

少なくなっていく報告と電子請求（カルテ）の移行についての現状報告がありました。

19時から懇親会が始まり、いつもですが支部の隔たり無しの有意義な情報交換の場となりあっという間の2時間でした。

最後は、柴田宗宣副会長と白岩利典会員の御二方による万歳三唱で閉幕となりました。

次回、秋季会は左京と北・上京の単独での支部会になりますので、ご参加の程宜しくお願いたします。



支部だより

宇治支部会・懇親会

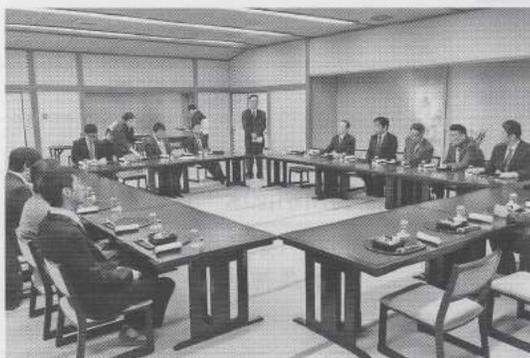
通信員 保田宗伯

平成29年3月4日(土)、宇治市「花やしき浮舟園」にて、支部会員17名、本会より長尾淳彦会長を迎え、計18名で支部会が開催されました。午後5時00分より、與那覇秀毅支部長の挨拶から支部会が始まり、近況報告、会員動静等の報告が行われました。

次いで、平成28年度の支部会計報告が会計担当の広林一成会員より行われ、次期新三役、支部長に清島高弘会員、会計に崎山貴之会員、通信に池田和重会員の紹介が行われました。

本会来賓として、長尾淳彦会長にお越しいただき、柔道整復師の業務、課題、展望についてお話頂き、3月11日(土)に開催される、第44回日本生体電気・物理刺激研究会参加の呼びかけをされました。午後6時30分より、懇親会が國本清会員の乾杯の音頭で始まり和やかな宴となりました。

瞬く間に時は過ぎ、南賢三会員の一本締めで閉会となりました。最後に與那覇秀毅支部長、二年間お疲れ様でした。



支部だより

西山会研修会・懇親会開催

記事 中川稔貴

平成29年3月18日(土)、京都ブライトンホテル、ウインザーにおいて長尾淳彦会長をお招きして、右京、西京、乙訓支部による西山会を開催しました。

加藤吉一右京支部長の司会で午後5時30分より始まり、初めに長尾淳彦会長よりご挨拶と最新の業界動向についてお話をいただきました。「明日の接骨学会・保険講習会でお話をしますが」と前置きされたうえで、いよいよ厚生労働省が電子請求(レセプト)の準備を始めます。日整がテストに協力することとなったこと等をお話されました。その後、各部の事業報告があり、研修会となりました。今回は、加藤右京支部長のお知り合いで、コンディショニングトレーナーをされている村上光男様より「スポーツ現場での柔軟性のチェッ

クと評価」と題して、講演いただきました。村上先生は現在、プロ・アマスポーツ選手のトレーナーとしてご活躍をされておられて、現場での貴重な体験談などのお話をしていただき、実技を交えて解りやすく指導・講演をされました。研修会終了後、午後7時より同じ会場にて懇親会が行われました。開会のあいさつを藤野勝弘先生にしていただき、乾杯のご発声は菅野泰二郎先生にお願いしました。シェフの趣向を凝らしたフレンチをいただきながら、皆さん業界の話、日常のお話をしながら和やかな時間を過ごす事ができたと思います。そして最後に、閉会のあいさつを山村政男先生にしていただき、無事終了する事が出来ました。参加された先生方、お忙しいなかお疲れ様でした。



講義中の村上光男氏



乾杯のご発声 菅野泰二郎先生

会員の動静

退会

12月 合木 義治 (乙訓支部)
北中 良祐 (中京支部)

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
4月			
5月	1日(月)~9月30日(土)		鴨川納涼床・貴船の川床
	15日(月)		葵祭(京都御所・下鴨神社・上賀茂神社)
6月	4日(日)	日整全国少年柔道京都大会	
	11日(日)	通常総会(ホテルオークラ京都)	
	15日(木)~9月23日(土)		宇治川の鵜飼(宇治塔の島公園周辺)
	30日(金)		夏越の祓(茅の輪神事)等府内寺社
7月	1日(土)~31日(月)		祇園祭2017
	17日(月)		山鉾巡行
	31日(月)~8月1日(火)		千日詣り(千日通夜祭)愛宕神社



主夫職二巻履着 貴族この科抄



刃長光土村の中義郎

編集後記

- 社会保障審議会（医療保険部会 柔道整復療養費検討専門委員会）での議論も大詰めを迎えています。我々の業務に大きな影響を与えることは間違いないと思います。今後の動向に注目したいと思います。 森田康裕
- 春になり、かなり過ごしやすい気候となってきましたね。春と言えばなんといっても桜ですね。一年に一度しか咲かないからこそはかなく、美しいのかもしれませんが。気候のせい、この時期になるとぎっくり腰の患者さんが多い気がします。我々も「医者の不養生」の言葉のようにならないように気付けなと…。 しんじ
- 今年はいつまでも寒かったせいか、やっと暖かくなってきたように思います。さて、京柔整会報143号が発刊されましたが、目を通していただけましたでしょうか。中でも、「京都の接骨の源流を探る」は安田優二先生が夜遅くまで時間を費やし作成された力作です。ぜひともお読みいただければ幸いです。今後とも広報部にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。 hatabou
- 今年もあっという間に過ぎ去っていく。春からが正念場なのだ。私も業界も。自分に関しては自分のこと、家族のこと、家のこと、やっておかなければいけないことから優先順位をつけてやらないといけないと思っている。さて、業界はどのようなだろう...答えは出ないが進展を切に願うものである。 YUJI
- 新年度を迎え、希望と不安を胸に新入生 新社会人が学校に社会に踏み出されました。私も新年度を迎え、襟を正し真摯に一年を過ごしたいと思います。会館が移転し学会・講習会、総会などが会館以外で開催されるように成りました。会場をお借りする立場になりより一層、柔道整復師として身なりを正しての参加を心掛けたいと思います。
- 皆様のご協力をお願いいたします。さて、広報担当理事になり2年がとうとしています。会員皆さま及び関係団体のご協力で無事に、広報活動を進めいく事が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。今年度も変わらぬご協力とご鞭撻を広報部まで、よろしくお願いたします。さあ、気候も良くなって参りました。アクティブに外に出かけます♪ポチポチ楽しんで活きましょう♪ ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 5月27日

京柔整会報 機関誌 143号

平成 29 年 4 月 20 日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔 貴
発行所 京都市中京区壬生松原町16番地 室谷ビル3階
☎ 京都(075)813-1156
(広報部)

印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町205
TEL.(075)381-5611
FAX.(075)392-0111

洗練されたインターフェイスと使い易い操作性。

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



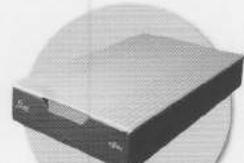
他社からのデータ移動も
お任せ下さい!

※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面 ▲
傷病通院入力画面 ▶

オプションで
さらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



Viamo Limited Edition

医療機器認証番号:
第 226ABBZ00136000 号
販売元: 東芝メディカルシステムズ株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:
第 225AHBZX00034 号
製造販売元: 本多電子株式会社



ARIETTA Prologue SE

医療機器認証番号:
第 227ABBZX00109000 号
製造販売元: 株式会社日立製作所

その他、様々な機種を取り揃えております。

SBB 株式会社 エス・エス・ビー

Web <http://www.sanshiro-net.co.jp>

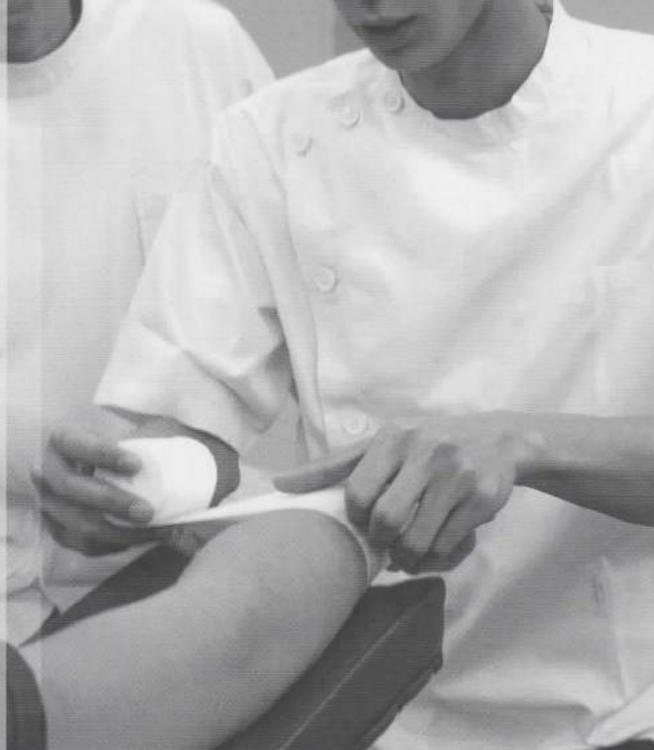
詳しくはこちら

関西
営業所

〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL.06-6390-3462 / FAX.06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶<http://www.jusei-news.com/>





スポーツ × 医療



2017年4月
保健医療学部にて
「救急救命学科」
開設

～部活のチカラを未来につなぐ場所～

◎中学・高校保健体育 一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による ◎Wスクールでの鍼灸師、柔道整復師のWライセンス取得

トップアスリート、スポーツメディカリストを目指す

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189
URL <http://www.meiji-u.ac.jp>

受験生のためのポータルサイト
「GOGO受験生」にアクセス



誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL <http://www.meiji-s.ac.jp>

オープンキャンパスの
お申込みはコチラ!!



鍼灸学部
鍼灸学科
目指す資格
はり師・きゅう師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー

保健医療学部
柔道整復学科
目指す資格
柔道整復師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー
■ジュニアスポーツ指導員

看護学部
看護学科
目指す資格
看護師・保健師・助産師(国家資格)
■アロマセラピスト
■看護教諭二種免許
■第一種衛生管理者免許

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]
目指す資格
はり師・きゅう師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(JSTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

柔整学科 [医療専門課程3年制]
目指す資格
柔道整復師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(JSTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

